

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立鍋島中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和6年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語・数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

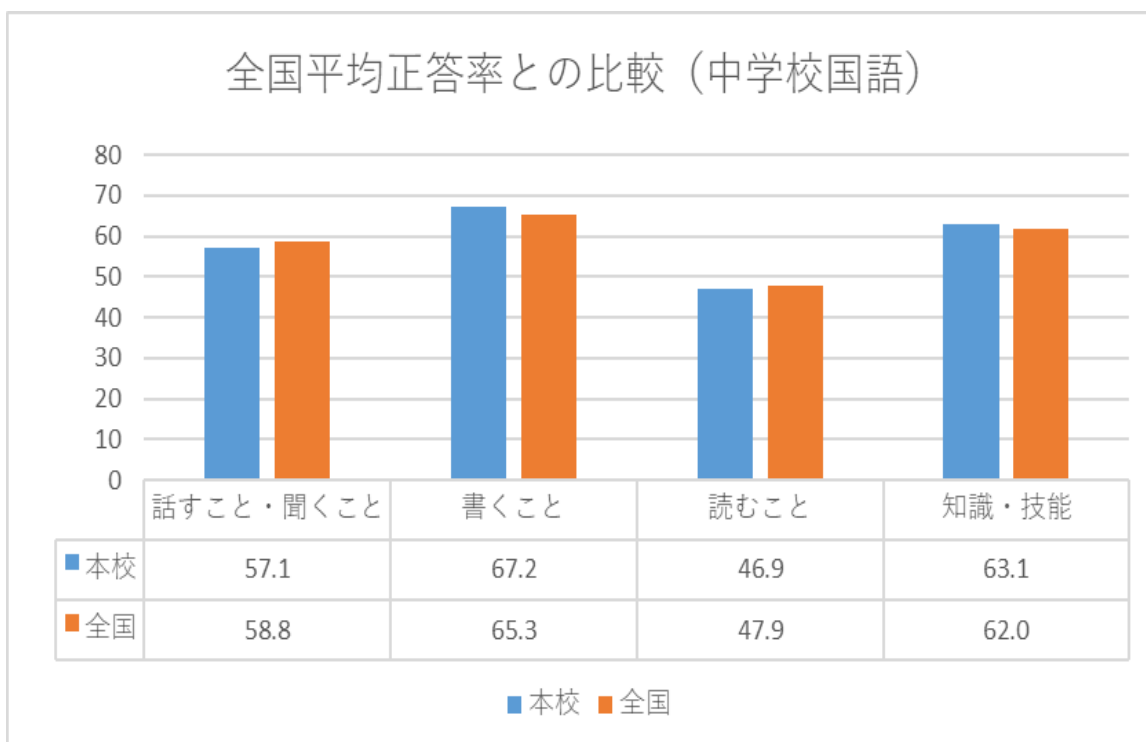
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

1 国語

(1) 結果



(2) 成果と課題

今回の調査で、「書くこと」と「知識・技能」が全国の平均正答率を上回りました。特に、「知識・技能」の「情報の扱い方に関する事項」では、全国平均を3.2ポイント上回りました。普段から様々な手段で多くの情報に触れさせ、必要に応じて情報を取捨選択させている成果が表れていると考えられます。

一方、「話すこと・聞くこと」と「読むこと」は全国の平均正答率を下回っており、苦手になっている生徒が多くいます。特に、「読むこと」の「本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する」問題の正答率が全国平均より7.2ポイント下回っています。要約をするためには、内容を正しく読み取る力や、どこが重要なのかを見極める力などの複数の能力が必要となります。日々の授業の中で字数や条件を決めて要約する活動を取り入れていきたいと思えます。

(3) 学力向上のための取組み

【学校では】

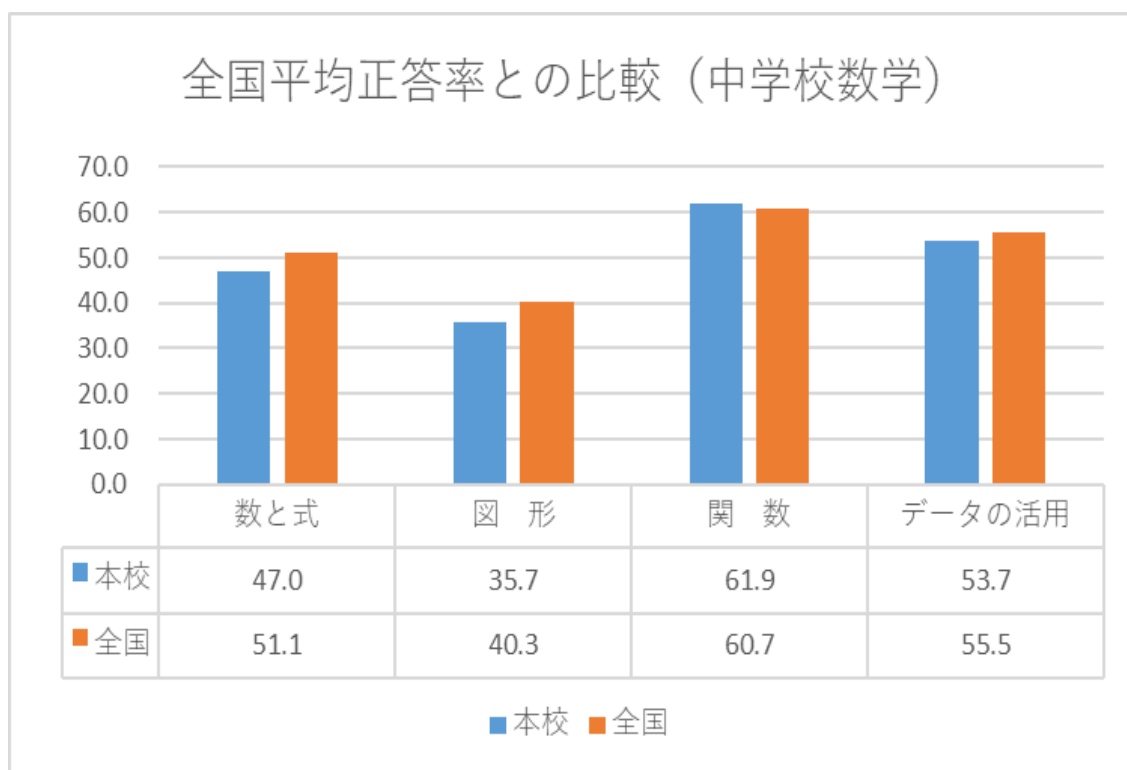
- 「鍋中学び合い」の授業を通し、他者の考えを聞いたり、他者に自分の考えを筋道立てて自分の言葉で伝えたりする力を育成します。
- 読み取ったことや理解したことを文章で要約したり、自分の意見を文章にして発表したり、理解と表現の授業を意識して行っていきます。

【ご家庭では】

- 自分の感想や考えを自分の言葉で答えられるよう、問いかけや言葉かけをお願いします。
- 読書を大切にしてほしいと思います。いろいろな種類の本に触れ、いろいろな表現や用語に出会うことで、文章を読み取る力や語彙力が身につきます。読んだ本のあらすじや感想を話させたり書かせたりすることも、要約する力の育成につながります。

2 数 学

(1) 結果



(2) 成果と課題

今回の調査では、「関数」が全国平均をやや上回っており、式やグラフの意味を理解し、問いについて考えることができていました。「数と式」「図形」は、全国平均を大きく下回っていて、文字を使って表したり、性質を説明したりすることを苦手としている生徒が多くいます。特に、観点別にみると、「知識・技能」が全国平均とほぼ同等であるのに対して、「思考・判断・表現」については、全国平均を大きく下回っており、自分の考えを根拠や数学用語を活用して、説明することができていませんでした。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 筋道を立てて説明する力をつけるために、授業において、「鍋中学び合い」を取り入れ、自分の考えを、数学用語や式を活用して表現する活動を行います。
- 「めあて」と「振り返り」を意識させ、毎時間の振り返りシートの記入を通して、自分がわかったことと、理解が十分ではなかったことを明確にしていきます。
- こまめに自分の力を再確認するために、単元の中で小テストを実施し、基礎基本の定着を図ります。

【ご家庭では】

- 授業で習ったことをその日のうちに1問～2問でいいので、ワーク等で復習するように言葉かけをお願いします。
- テスト終了後は、必ず解き直しをして、振り返りをするように言葉かけをお願いします。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について（自分自身のこと）》

調査項目	本校(%)	県(%)	全国平均(%)
朝食を毎日食べていますか。	81.4	79.8	79.1
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	34.9	36.6	34.9
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	56.7	57.0	55.3
自分にはよいところがあると思いますか。	39.5	36.4	40.4
将来の夢や目標を持っていますか。	30.2	35.9	36.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	81.9	81.6	77.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	72.1	70.1	68.6

就寝時刻が定まっていないのが気になります。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていけることはとても重要です。家庭と学校で協力して、習慣化していきましょう。

「将来の夢や目標を持っていますか」という項目については、数値が低くなっており、今後の進路学習等を通して、自分を見つめる時間をしっかりとっていきたいと思います。規範意識（いじめを許さないという気持ちなど）については、肯定的な回答をした生徒は全国平均よりも高い結果が出ています。「人が困っているときは、進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」について、全国平均を大きく上回り、他者との関わりの中でよりよく生きようとする心優しき生徒の姿が見え、落ち着いた学校生活を送ることができていることにつながっていると思われます。

《家庭学習の様子》

学習時間（塾等を含む）	本校(%)	県(%)	全国平均(%)
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。「3時間以上」	6.0	4.2	9.2
「2時間以上、3時間より少ない」	14.9	15.0	22.5
「1時間以上、2時間より少ない」	31.6	29.7	32.6
「30分以上、1時間より少ない」	20.0	26.1	18.4
「30分より少ない」	16.3	15.8	10.4
「全くしない」	10.7	8.9	6.6

家庭学習（塾等での学習時間を含む）については全国平均と比べると、学習時間がやや少ないという結果が出ています。また、1時間未満の生徒が3割以上おり、中には全く家庭学習をしていない生徒もいました。かなり個人差が見られるので、家庭学習の手引きをもとに、家庭学習の意味を生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

《人との関わりのこと》

調査の項目	本校(%)	県(%)	全国平均(%)
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。	44.2	36.1	36.4
1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表をしていましたか。	27.0	18.4	22.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	34.0	28.8	26.4

生徒間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることについては、県・全国平均を上回っており、「鍋中学び合い」でお互いを高め合う学習ができていていると思われます。今後も授業において、受け身ではなく、自ら学ぶという意識を持ち学習に取り組む活動を取り入れていきます。

また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という項目については、高い数値が出ており、今年度も地区の体育行事や幼稚園でのボランティア活動（チーム快援）に積極的に参加する生徒が多く、地域へ積極的に関わろうとする姿が見られます。

(2) 鍋島中学生の生活習慣や学習習慣に関する調査結果と正答率の関係

- 「朝食を毎日食べている」と答えた生徒の正答率が高い。
- 「普段（月～金）、1日当たり携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴をする時間が 2 時間より少ない」と答えた生徒の正答率が高い。（特に国語）
- 「普段（月～金）、1日当たりテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をする時間が1時間より少ない」と答えた生徒の正答率が高い。
- 「土曜日曜など学校が休みの日に勉強をしない」と答えた生徒の正答率が低い。
- 「将来の夢や目標を持っていない」と答えた生徒の正答率が低い。

(3) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 普段の学習や定期テスト前の学習計画を記録する「サクセスカレンダー」を使用して、学習の取り組みがみえる手立てをとっています。学習計画、実践、振り返りの取組を通して、自分の課題や教科の学習課題が把握できるように、声掛けを行っていきます。
- 学習用パソコンの持ち帰りを生かして、学校の授業の復習や予習、基礎基本や発展的な学習に役立てる取り組みを行っていく予定です。

【ご家庭では】

- 家庭学習が定着するよう、県が作成した「家庭学習のてびき（＊１）」を活用しながらご支援をお願いします。
- ゲームやSNSに時間を使いすぎないように、メディア時間について、家庭での約束ごとを決めていただくようお願いします。佐賀県から「大人向け情報モラルリーフレット：子供を守るために今保護者がやるべきこと（＊２）」が配布されています。ぜひ一読ください。



「家庭学習のてびき」（＊１）



「大人向け情報モラルリーフレット：子供を守るために今保護者がやるべきこと」（＊２）